

平成27年度「市役所の仕事」花まる通信簿(平成26年度実績)

担当課 15農林水産課

Plan	◆事務事業の概要◆		会計区分	一般会計	事業通番	10130	事務事業コード	1545
事務事業名	地域食材活用推進事業			開始年度	平成18	終了年度	未定	
種類	ソフト事業(任意)	根拠法令	無し		例規等	無し		
将来ビジョン	1. 産業の振興 (1)農林水産業の振興					H25: 重点●政策○	-	
H26施政方針	1. 人口減少対策 (3)農林水産業の振興					H26: 重点●政策○	-	
H27施政方針	1. 人口減少対策 (6)産業の振興 ③ 地産地消の一体的政策					H27: 重点●政策○	-	
事業概要	首都圏をはじめ島内外への佐渡産水産物の販売促進、PRを生産者団体とともに実施することで、佐渡ブランドの知名度向上につなげる。 佐渡イカを活用し、観光・飲食業と漁業が連携し、地元や観光客が満足できる食材・商品を開発～提供する。							
対象	佐渡産水産物							
意図(対象をどのようにしたいか)	市場や首都圏消費地等から佐渡産水産物として継続性のある評価を目指す。 地元民にも観光客にも評価してもらえる商品を提供する。							

Do

◆将来ビジョン成長力強化戦略指標◆

項目名	戦略指標	H24現状	H31目標
持続的な経営の展開	主要農産物の販売額	6,294百万円/年	6,400百万円/年

◆事務事業の目標(成果)指標◆

目標(成果)指標名		単位	25年度実績値	26年度(評価年度)		27年度目標値	28年度目標値	31年度目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値			
	島外販売PR活動回数	回	2	2	2	2	2	2
算式	-							

◆事務事業を構成する細事業の事業費・成果指標◆

枝番	細事業名		H25決算額	H26決算額		H27当初予算額	H28以降の予算の方向性		重点細事業
	指標	目標(成果)指標名	H25実績値	目標値	実績値	H27目標値	事業の方向性		
1	原材料、会場借上料、旅費・加工手数料		183		50	250	予算	維持	
	指標	活用食材種類	3	5	3	3	事業	維持	
2	海藻増殖試験 委託料		300		0	0	予算	不要	
	指標	試験回数	2	-	-	-	事業	終了	
3	地域食材活用事業負担金(ブランド化推進、販売促進PR)		323		0	0	予算	維持	○
	指標	販促PR回数	2	2	2	2	事業	維持	
4	佐渡イカ利活用協議会委託料、負担金		0		276	400	予算	維持	◎
	指標	組織の設立、会議の開催	-	2	2	-	事業	維持	
事業費の合計(千円)			806	326		650			
財源内訳	国庫支出金		0	0		0			
	県支出金		0	0		0			
	地方債		0	0		0			
	その他		0	0		0			
	一般財源		806	326		650			

Check

◆事務事業を構成する細事業の評価◆

A : 適正である B : 検討の余地あり C : 見直しすべき

枝番	細事業名	妥当性	有効性	効率性	課題と対策
1	原材料、会場借上料、旅費・加工手数料	B	B	A	佐渡イカを活用した取組を進めて行くため、漁業者、加工業者、飲食店、観光業者に集まってもらい、検討してもらった。佐渡イカ利活用協議会を発足してもらうことができた。今後はイカ以外の魚介類についても検討していく必要がある。
2	海藻増殖試験 委託料				
3	地域食材活用事業負担金(ブランド化推進、販売促進PR)	C	B	B	国庫補助事業「離島活性化交付金」によりH27年度までは、同様の内容に取組めるため、市単独予算は不要。H28年度以降は関係者と協議し対応を検討する必要がある。
4	佐渡イカ利活用協議会委託料、負担金	B	A	A	漁業者、加工業者、飲食店、観光業者に集まってもらい、企画を説明した結果、賛同いただいた方で佐渡イカ利活用協議会をH27.2月に発足することができた。今後の運営は会員が主体となり、会費を財源とした活動計画となっているが、H27年度から3年程度は、PR等の経費として市の助成が必要である。

Action		◆今後の事務事業の方向性◆		
評価(担当課長)	事業の方向性	維持	予算の方向性	維持
事業の方向性 (事業全体の課題や改善方策など)	水産物の鮮度管理の重視及び漁業所得向上を図るため、自信の持てる佐渡産水産物として地元で親しまれ、首都圏消費地からの継続性のある評価の確立を目指し、関係者と一緒になって取扱いや販売に対する意識を高めていく。			